
在宅透析(HHD)患者の栄養状態とフレイル診断-施設透析患者との比較-

医療法人衆和会 長崎腎病院

○山下万紀子 林 涼子 山口由希子 佐藤泰崇 田賀農恵 澤瀬健次 原田孝司 舩越 哲

【目的】

HHD 患者の栄養評価とフレイル診断を行い、施設血液透析(CHD)患者と比較した。

【方法】

対象はHHD患者11名、CHD患者11名、患者背景はCRP、年齢、性別、糖尿病、同居者、職の有無が同等になるよう選別した。栄養評価についてはBMI,GNRI,Hb,Hc,CRP,Alb,TC,ChEを、フレイル診断については基本チェックリスト(25点満点;8点≦フレイル)を用いた。

【結果】

栄養状態はHHD群においてHb,Ht,Tcho,ChEが有意に高く、BMI,GNRIが高い傾向にあったが有意差はなく、Alb,CRPは両群で差がなかった。フレイル診断では対象の22名全員がフレイル状態ではなかったが、平均点数ではHHD群1.7点、CHD群4.3点(P=0.0015)とCHD群が有意に高く、CHD群がよりフレイルに近い状態であった。

【考察】

HHD患者はCHD患者に比べ栄養状態がよく、CHD患者のほうがフレイル傾向にある可能性が示唆された。